

令和5年度第2回健康計画推進委員会会議録

日 時	令和5年12月14日（木）13時30分～15時
場 所	大栄農村環境改善センター 第4会議室
出席者	<p>【委員】（敬称略） 宮川、仲、天野、濱口、小野塚、絹見、中本、田村、松本、西村、 藤友、竹原、荒木、坂本 14名（欠席2名）</p> <p>【事務局】 吉岡課長、木村室長、塚本</p>
<p>1. 開会 2. あいさつ 健康推進課 吉岡課長 3. 報告</p> <p>(1)令和5年度事業について（P1～3）</p> <p>①特定健診および各種がん検診の受診状況、がん発見の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団健診は引き続き予約制、受付時間を分散して実施。受付時間の通知が受診忘れにつながっている。 ・ 受診勧奨は、町報や放送で情報発信する他、通知や電話などで実施している。 ・ R5年度の健診は2月末までだが、医療機関健診(特定・長寿健診、各がん検診)は増加傾向を見込んでいる。 <p>②歯科対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯を通じて歯科健診の機会を確保するため、20～70歳の10歳刻みの年齢を対象に、ふしめ歯科検診を実施している。未受診者へは受診勧奨を行い、歯周病予防につなげる。 <p>③健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R5年度は26自治会から申し込みがあった。感染対策等で健康講座開催が難しい自治会もある為、TCCテレビ健康講座をR5年度も実施し「糖尿病」「低栄養」の2つのテーマを放映。 ・ 生涯学習課主管の出前講座での健康づくり関係の依頼は、R5年度は11か所予定。 <p>④運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北栄スポーツクラブと連携し、新たに水中歩行を実施。開催日も平日日中、夜間、休日と参加しやすいよう設定したが、水着への抵抗感からか参加人数は伸び悩んだ。運動習慣の定着に向け、回数券の未利用者へは勧奨をする。 <p>⑤ヘルスアップ教室(糖尿病性腎症重症化予防事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健診結果から、対象者を選定し実施している。R5年度は看護師、理学療法士、管理栄養士に講師依頼し講演会を開催。またハイリスク者への県専門家派遣事業を活用し、継続的に保健指導を実施している。 <p>⑥血圧対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みらい内科クリニック山本医師による血圧講演会を開催。血圧測定の方法、生活習慣のポイントや腎硬化症の内容もご講演いただき、日頃の生活習慣の振り返りの機会となった。 <p>⑦自死対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月に民生委員研修会において、ゲートキーパー研修を予定している。 <p>(2)健康計画6つの項目に対する行政の取り組み（P4～7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料に沿って主だった取り組みを説明。 <p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種健診受診率は、健康ほくえい計画の目標値を意識して目標に届くように。 	

4. 協議

(1) 令和 6 年度事業について (P4~8)

- ・資料に沿って検討事項を説明。
- ・健診関係について変更を検討している。
 - *意向調査票の配布を取りやめ、受診可能な対象者全員へ送付する。
 - *予約方法は、現在の電話予約に加えて Web 予約も導入し、日中勤務の方の受診しやすさにつなげる。
 - *大腸がん検診の受診方法は、現在の自治会での説明会、検体回収を取りやめ集団健診及び医療機関で実施し受診機会を増やす。
- ・食推養成講座は 1 年おきに開催していて、令和 6 年度開催予定。
- ・テレビ健康講座はコロナ支援が終了し製作費が増額する。今後は地域での健康講座としてなるべく集合型で開催したいが、健康ポイントラリーのテレビ健康講座の応募状況を確認する等して検討する。

【意見等】

- ・フッ化物洗口の実施方法は？
 - 給食後に、フッ素を含んだ液体を口に含みブクブクうがいをする。むし歯予防の一助とする。
- ・認知症対策は、取り組み内容に含まれないのか？
 - 福祉課の事業となるが、健康推進課としても「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」をする中で、気づくことがあれば福祉課につなげたり、啓発をしていく。
- ・高齢になると健診を受けない人多い。受診率を上げるために取り組めることはないか。
 - 定期通院しているからと受けない場合があるが、通院時の検査が健診の項目を網羅しているとは限らない。「みなし健診」として定期通院時の検査に追加して健診項目を追加してもらう等働きかけていく必要がある。
- ・死因の上位にある心疾患対策は？
 - 北栄町の健康課題でもあり、まずは血压対策、塩分摂取の啓発を行っていく。

(2) 健康計画の期間について (P8、資料 1)

- ・第 3 期健康ほくえい計画は、データヘルス計画との整合性から計画期間を令和 10 年度までとしているが、次期データヘルス計画は令和 6 年~11 年までの 6 年間となった。それに伴い、ほくえい計画の最終年度を 1 年間延長し令和 11 年度とすることを提案。
 - 了承。

(3) 各組織・団体の取り組みについて (P9)

○小学校

- ・がん予防教室を 6 年生で実施。喫煙、飲酒の影響について、家族に伝えたいなど前向きな感想が多かった。
- ・むし歯罹患率について、地域差はあるが過去 10 年間で一番低かった。ただ治療率の課題もあり、受診行動につながるよう今後も家庭への啓発を行う。

○こども園

- ・むし歯については一人当たりの保有率が多い傾向にある。仕上げ磨きの大切さを伝えていくことも必要。
- ・姿勢保持の為にトランポリンを使用し、楽しく体を動かし体幹を鍛える活動を取り入れている。
- ・心の健康としては、性教育をテーマに自分の体の大切さを小さいうちから伝えていく。
- ・メディアコントロールの取り組みとして、チャレンジ週間ではお手伝いチケットや絵本読み聞かせチケットを配布する等して、保護者への意識づけにも取り組んでいる。

- こども園 PTA
 - ・むし歯は親の意識が重要であり、お口の健康をテーマにした講演会開催等検討していく。
- 自治会長会
 - ・健診を活用して健康管理をするよう啓発していく。
- 老人クラブ連合会
 - ・各老人クラブで、こけない体操を実施している。老人クラブでも地域差があることと、参加が少ないのが課題。
- 健康推進員会
 - ・健康推進員は、健診の呼びかけを自治会で担っている。受診率の高い自治会の取り組みや工夫を、他の自治会でも参考に出来ると良い。
 - ・テレビ健康講座は、若い年代であれば YouTube の方が見やすい。
- JA
 - ・グランドゴルフ大会や健康ゴルフ大会の開催等、コロナ以前のペースで実施している。
 - ・各職員は必ず職場健診を受診している。またドックは互助会員は希望者は自己負担なしで受診、組合員は 70 歳以下で希望する場合は補助があり、健診体制を整えている。
- 商工会
 - ・女性部では年 1 回ヨガや健康に関する研修会を開催する等して健康づくりの機会としている。
- 食生活改善連絡協議会
 - ・活動の一つとして、若者世代への食育として中央高等専修学園で「朝ごはん、塩分、BMI（肥満度指数）」をテーマに啓発活動を行った。
- 住民代表
 - ・健康は自分で気を付けるよう意識し、食事、運動、社会活動を行っている。

(4) その他

※仲歯科医師よりコメント

- ・歯科でもそうだが、かかりつけ医院で定期受診していても、健診を受けることで早い段階で見つかる病気もある。歯周病でも認知症でも早期に見つければ、進行を防いだり、健康な状態に戻れることもある。町では健診受診につながるような取り組みをしている。健康で長生きするために、必ず健診を受診するように。

5. その他

(1) 今後の予定について

- ・R6 年度は引き続き計画推進の年となり、委員会は年 2 回を予定していて、次回の開催 R6 年 8 月頃を予定している。
- 組織、団体内で代表の交代がある場合は、引継ぎを依頼。